

苦情事例登録用紙

登録 No. NI-18- 005

登録日 2018 年 3 月 31 日

| | | | | | | | | |
|------------------|---|---|-------|--------|-------|--------|---|-------|
| 商品名 | シャツ | 分類 I | 分類 II | 分類 III | 分類 IV | 分類 V | 苦情原因・現象の分類 | 生地の破れ |
| | 組成 | 紳士 | 中衣 | 織物 | 形態 | ランドリー | | |
| 表示事項 | 綿 100% | 取扱い | | | | 付記用語 | | サイズ |
| | |  | | | | (特になし) | | 原産国 |
| | その他 | | | | | | | |
| 苦情内容 | (消費者→クリーニング店→百貨店への苦情) クリーニング店でランドリーを行ったら縦方向に裂けてしまった。クリーニング店は「通常の処理をした。商品に問題がある。」との見解であったため、百貨店に持ち込まれた | | | | | | | |
| 外観 | 茶色のよこ糸が脆化して、たて方向に破れが発生している。破れた部分を引っ張ると簡単に裂ける(図1) | | | | | | | |
| 聞き取り・調査結果 | ①着用/取扱い状況 ・数年(2~3年)は着用されている。家庭洗濯を行ってきたが、汚れがひどいため初めてクリーニング店に洗浄を依頼した ・ランドリーの洗浄方法(例) 液温: 50~60℃、弱アルカリ洗剤使用、漂白は過炭酸ナトリウムを使用 濃度は0.5~1.5g/l、0.3~0.5%owf ②商品の外観 ・たて糸白、よこ糸茶のシャンプレー素材、よこ糸だけが脆化している。脆化は商品全体に認められる(図2) ③販売前の試験結果 ・不明 | | | | | | | |
| 検討事項 | ①染色 ・茶色のよこ糸のみが脆化していることから、よこ糸は含金属染料で染色されていたのではないかと推察。金属の触媒作用で著しい酸化が生じ脆化した ②取扱い方法(ランドリー) ・漂白剤として過炭酸ナトリウム(粉末)を使用した場合、洗濯時の温度が高い(60℃以上)と酸化作用が一気に進む ・シャンプレーやストライプ柄では染色部分に酸化作用が集中する(図3) ・水洗機の内側はステンレス製のため、触媒作用により酸化が加速する可能性がある ③試験・分析 ・染料部属を調べる。次に商品の引裂強さを調べ、全体的に強度低下がみられる場合、漂白剤による洗濯事故の可能性が高い ・JIS L 0889(酸素系漂白剤を用いる洗濯に対する染色堅ろう度試験)を行い、漂白剤の影響を受けやすいかどうかを確認する | | | | | | | |
| 苦情原因 | ①含金属染料を触媒とした漂白剤の強い酸化作用 ・漂白剤として過炭酸ナトリウム(粉末)を使用した場合、洗濯時の温度が高い(60℃以上)と酸化作用が一気に進行する ・特にシャンプレーやストライプ柄では染色部分に酸化作用が集中する ②商品の問題ではなく、洗濯事故 ・1回の洗濯で破れるとは考えづらい ・2~3年着用されており、繰り返しの家庭洗濯(酸素系漂白剤使用)で脆化が徐々に進んでいた | | | | | | < 苦情部分の写真 >  | |
| 今後の対策 | ①テキスタイル ・テキスタイル⇄アパレル間の情報共有 含金属染料の使用を伝える ただし海外の生地の場合、染料部属の情報は得られない。国内反でも困難 ②アパレル ・シャンプレー素材、ストライプ素材および含金属染料使いの商品は、取扱い表示記号を『200』にする ・取扱い表示記号は『210』にして「液体酸素系漂白剤の使用を推奨」を付記する ③試験 ・酸化作用を受けやすいと考えられる素材に対しては、JIS L 0889を行う 同試験では漂白剤の影響を受けやすい(酸化されやすい)染色品は、脆化には至らないが、変退色を生じる ④クリーニング ・裏表で色が違う場合(シャンプレー素材)、濃色扱いとして洗浄温度を低くする ・取扱い表示記号『200』の商品は、漂白剤は使用しない。汚れが目立ち漂白を行う必要がある場合は、低温洗浄(40℃)もしくは漂白剤の部分洗いで対応する ⑤販売店 ・販売時、取扱い表示の確認、液体酸素系漂白剤の使用を推奨する | | | | | |  | |
| その他 | <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">ドビッキングス</div> | | | | | |  | |